



☎ 591-7376
akito.n@m3.dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどり清流

2003年11月発行 第24号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 一か月 2900円
日曜版 一か月 800円

お申し込みは
南多摩事務所 ☎582-0505
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡 南平駅
中野あきと事務所

ヤマダデンキ

北野街道

またしても一律5%カット 来年度の市の予算編成方針

10月1日、来年度の予算編成に向けた通達が、馬場市長から出されました。

これによると経常経費の5%削減方針が今年も盛り込まれています。

この数年、3%から10%まで毎年一律カットの方針が出され、削減してはならない保育園の子どもたちの食料費や各種施設への負担金が機械的に削減され、市民からも批判の声が上がっていました。

その一方で市は、市制四〇周年、日野宿開設四〇〇年という市政の歴史の節目が『新撰組ブームの年』に重なることを好機とし、市の活性化事業を重点にするとして新撰組事業を重点施策にし、「総合体育館建設の促進」を新規事業に位置づけています。

予算編成方針では「不況による市税収入の落ち込み等さらに厳しい財政運営を余儀なくされている」などの表現をくり返し使い、施策の一律カットを求めています。

しかし、なぜ百億円に近い巨費を投じて運営することになる、総合体育館建設をいま促進するのか、市の姿勢が問われる予算編成方針となっています。

十二月市議会を傍聴しませんか

傍聴は誰でもできます。議会事務局に申し込み、氏名・住所を書きこむだけです。

○開会日は12月2日、本会議の一般質問は4、5、8、10日。

誰がいつ質問するかは、議会事務局にお問い合わせ下さい。

私立幼稚園 入園手続きに徹夜の列 見直し迫られる市立幼稚園の統廃合

11月1日から、来年の私立幼稚園の入園申し込み手続きが始まりました。

入園が先着順で決まるため保護者の方は大変です。何日も前から徹夜で行列する事態も生まれています。

この間、私立幼稚園の受け入れ枠の不足は、深刻な問題となってきました。二〇〇三年度では、市内の私立幼稚園の三歳児募集人員は六一七名でしたが、応募は七一〇名で、合格者は六五九名でした。五一名が入園できず待機することになったわけです。

ところが一方、市教育委員会は、市立の幼稚園の統廃合をすすめています。すでに第六幼稚園が廃園になり、今年から第一幼稚園の募集が中止となりました。

さらに第三幼稚園と第四幼稚園の統廃合も計画されています。

「少子化によって入園希望が減少し、定数を割っている」「市立幼稚園は、その使命を終わった」として市教育委員会が市立幼稚園の統廃合を決めたのは9年のことです。七園ある市立幼稚園を二園にまで減らす方針を決めました。

しかしこれが現状を踏まえた議論でなかったことは、もはや明確です。市は統廃合計画を撤回すべきではないでしょうか。



草の根から

「憲法自体を見直すべきだ」というのは、時代の流れ」「国民の多数がそう思っているということ」が立証された……。開票翌日のワイドショーで政治家やコメンテーターの発言。腹立たしいがそれ以上に恐ろしいのはまともな反論が無いという番組の現実です▼財界がシナリオを書き自民、民主双方とも公約にかかげた消費税の大増税と憲法改悪。実施されれば戦後築いた日本の国の形は根本から変わります。戦争しない国から戦争する国へ、弱肉強食の社会へと▼財界の野望を許してはなりません。本格的たたかいはこれからです。

草の根の国民的大反撃でこの野望を打ち砕けば、展望が開けます。国民主役の新しい政治の流れがつかれます▼まずはイラクへの派兵反対の大闘争を。消費税増税と憲法改悪阻止。選挙の結果は厳しいものですが、勝負はこれからです。がんばります。

中野あきと

今回の総選挙の結果について、日本共産党中央委員会常任幹部会は十日、次のような見解を
発表しました。是非をお読み下さい。

一、今回の総選挙で、わが党が得た議席は、改選前の二十議席から九議席となりまし
た。比例代表選挙の得票は四百五十八万票
(7・76%)であり、前回二〇〇〇年総選挙の比例選挙の六百七十一万票(11・23%)には及ばなかったものの、直近の国政選挙である二〇〇一年参院比例選挙の四百三十三万票(7・91%)をほぼ維持する結果でした。

自民党が「政権協約」で消費税増税の方向を明らかにしたのは解散の当日――十月十日のことでした。

消費税と憲法の問題は、今後の国政の進展のなかで、いやおうなしに重大な争点になるものであり、わが党がこの問題を正面から提起したことは重要な意義をもっています。

財界が主導する「二大政党」制には、行き詰まった自民党政治を打開する力も展望もありません。二十一世紀、国民の希望にこたえる日本の未来を切りひらくうえで、日本共産党の果たすべき役割はいよいよ重大です。

しかし、わずか一月という限られた期間におこっている事態の真相とわが党の立場を、多くの有権者に伝えるにはいたりませんでした。

一、議席を後退させたとはいえ、今回の選挙戦でわが党が訴えた政治的主張は、国民の立場に立ったものであり、今後の政治で大きな力を発揮すると確信しています。

一、総選挙の総括は、党内外の方々の意見に広く耳を傾け、近く開く中央委員会総会でおこないます。

わが党は、来年一月の第二十三回党大会に向けて、党綱領改定案を練り上げ、強く大きな党を築く課題に力をそそぐとともに、来年の参議院議員選挙での前進を実現するために、全力をつくす決意です。

一、この選挙は、自民党と新民主党が、消費税増税と憲法改定という国の政治の基本にかかわる問題で同じ立場に合流し、その枠内で「政権選択」を争うという、政党地図の大きな変化のもとでたかわれました。この変化は、アメリカ方式の「二大政党」制を求める財界の呼びかけのも

ものでした。合併によって生まれた新民主党の「フェスト」を発表したのは十月五日であり、

一、議席を後退させたとはいえ、今回の選挙戦でわが党が訴えた政治的主張は、国民の立場に立ったものであり、今後の政治で大きな力を発揮すると確信しています。

わが党は、来年一月の第二十三回党大会に向けて、党綱領改定案を練り上げ、強く大きな党を築く課題に力をそそぐとともに、来年の参議院議員選挙での前進を実現するために、全力をつくす決意です。

総選挙の結果について

2003年11月10日

日本共産党中央委員会常任幹部会

☆区画整理全国研修集会に

参加してきました

10月、年一回開かれる区画整理の全国集会に参加してきました。全国から二百名近い方々が集い、それぞれの地域の事例報告や悩み、取り組みが聞かれました。

地権者の権利をまもる取り組み、反対運動、住民主体で『まちづくり』をすすめる運動まで、取り組みの中身や問題意識はさまざまですが、それぞれが教訓的で勉強になりました。地域の2名の方も一緒に参加しました。

☆『区画整理なんでも相談会』

【中野事務所主催】12月に行ないます

期日、場所、時間、等は、追ってお知らせします。

ぜひ、お気軽にご参加を。

中野あきと

【日野市】候補者別の得票数

長島 昭久	32,505	39.9%
橋本じょうじ	25,505	31.3%
川田えつこ	17,031	20.9%
田川ゆたか	6,487	9.9%

【日野市】比例代表選挙の結果

民主党	35,069	43.1%
自民党	24,592	29.5%
公明党	9,457	11.3%
日本共産党	8,057	9.9%
社民党	4,189	5.0%

短 信

「心配で明け方まで開票を見ていたよ」「えらいことになったね。どうなっちゃうんだろう」。総選挙の翌日、事務所や党支部に寄せられた声です。ご支援頂いた方々に、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。声をつまらせ電話で結果の報告をする党员もいました▽結果は重大です。しかし今度の選挙、多くの有権者が終盤ギリギリまで、どこに入れようかと模索している様子が電話などの対話で感じられました。「検討の中に共産党は入っているでしょう」と、率直に聞いてみると大半の方が「はい」という返事でした。「お宅の資料届けてほしい」という方も従来の選挙以上にありました▽言えることはこの選挙結果の背景に、条件と状況次第では日本共産党に入れて頂ける有権者が大勢いるということです。活動量が不足という率直な指摘もあります。重大な情勢下いっそう多面的な活動が求められています。ぜひ、この党を大きくして下さい。一層力をお貸し下さい。来年の参院選、まさに正念場です。